

郷土摂津 いにしえ通信

第62号 平成15年6月1日

発行 摂津市教育委員会 生涯学習部生涯学習課

〒566-8555 摂津市三島一丁目1-1

TEL (06) 6383-1111 TEL (072) 638-0007

ホームページアドレス <http://www.city.settsu.osaka.jp/>



直角をとるのに使います。

田植え縄は、とがった先を畦にさしこんで田植え縄をピンと張り、正条植えの基準線としました。

農具

から見た

春夏

秋冬

第3回

田植え定規・田植え縄

田植え機が普及する以前は、田植え定規・田植え縄で稲をまっすぐに揃える方法で田植えが行われていました。稲株の間隔を等しく植えることを正条植えといいます。稲株をまっすぐ並べて植えると除草機が入って草取りの効率が上がります。富国強兵の基礎として農業を重視した明治政府は、日清戦争後、この正条植えの普及を図ります。田植えは一家総出、子供も苗運びを手伝いました。

平成15年度・文化財講座開催のお知らせ

ふるさと摂津講座

期 間 平成15年6月から平成16年2月まで全8回を予定しています。各回とも広報及び本通信でお知らせします。

時 間 午後2時から4時まで

場 所 摂津市総合福祉会館第1会議室

講 師 ふるさと摂津案内人

受講に際しては、申し込みは必要ありません。各回とも直接会場へご来場ください。

摂津市とゆかりのあるテーマを選択し、古代からちょっと昔まで、摂津市の歴史を楽しく学習する講座です。

6月のふるさと摂津講座

講 師 小林 貞夫氏

内 容 味生の歴史

講師はふるさと摂津案内人

ふるさと摂津案内人は、文化財からふるさとの歴史を学習し後世の人々に伝えていく市民によるボランティアグループです。

石碑・顕彰札の紹介

平安時代の牧場『鳥養牧』

延長五年（927）に完成した『延喜式』では、当時の牧は三種に分けられています。皇室の料馬を供給する御牧（勅旨牧）、兵馬・用役牛の飼育を目的とする諸国牧（官牧）及び京都の近辺で供給できるように設けた近都牧です。

近都牧は、摂津・近江・丹波・播磨の四力国に6牧ありました。諸国から貢進した牛馬をうけとった左右馬寮がこれらを飼育し、必要に応じて京にひいてこさせるために設けた牧です。その中に、摂津市域に存在した右馬寮鳥養牧がありました。

ここには河港があり、住吉大社や高野山などの参詣の途上に立ち寄って宴会をしたり、鶺鴒を見ながら貴重な氷を食べたりした記録が残っています。紀貫之も任地だった土佐から都に帰る途中で、鳥養牧の近くで停泊したことを土佐日記に書き残しています。



石碑「鳥養牧跡」

摂津市域の歴史をたずねて

【所在地】 摂津市鳥飼下3丁目26番地先

【設置年度】 平成7年度



第26回 埋もれた摂津市の歴史

明和池遺跡の発掘調査（1）



昭和62年、庄屋1丁目に位置する明和池遺跡で大阪府教育委員会により発掘調査が実施されました。このときの調査では弥生時代から戦国時代にいたる7時期の堆積が確認されました。弥生時代の堆積からは土器の破片や古墳時代前期にかけての河川跡が見つかりました。古墳時代の後期になると掘立柱建物や溝が造られ集落が営まれ始めます。その後平安時代、鎌倉時代、室町時代にかけても集落が継続して営まれます。戦国時代には大溝が掘られていました。（つづく）